

町所蔵美術品の取り扱い

問 たくさんの美術品をどうするのか

答 美術館構想は中止、展示先を探す

関根
清隆
議員



AIで情報収集し、
対策を提案したが…



美術品の今後の取扱い方針を伺う

問 美術品は購入作品94点、寄贈品168点、合計267点に及ぶが、収集目的は何か。

答 20年以上前、美術館構想があり、展示予定だったが、構想は中止となり、現在では何点か各施設で展示・活用している。

問 たくさんの作品をこのまま地下室に眠らせておかず、利活用の方法を考えると次の順番になる。

- ①他美術館に寄贈し展示してもらう。
- ②美術品市場に出して売却する。
- ③町民に売却、あるいは作者に返却する。
- ④価値のないものは廃棄する。

となるが、②の場合、所蔵リストを示し美術商の意見を伺ったところ、多くは市場では売れず、査定運搬費用を考慮すると、一括引き受けで数十万円と言われた。従って購入品は、①官公庁オークションに出すこと、②専門家に査定してもらうことを提案する。その結果、市場価値が極めて低く、この2つの証拠があれば、会計的に処分できるというのが他自治体の事例だ。我が町としてはいかがか。

答 官公庁オークションは手続き上、取り組むべき課題があり、査定には費用が掛かるが、今後研究していく。一方、売却と美術館等への貸出も進める。

問 多くの寄贈品は売却できない。展示もできないのなら、作者に返却すべきではないか。私が作者なら自分の作品は返してほしいと思うがいかがか。

答 長年、十分な活用が出来なかったもので、今後は多面的に利活用を進めたい。町民の理解をいただけるよう町の財産として有効活用を図っていく。



当時の購入価格515万円
三栖右衛門 コスモス

町政を問う!

一般質問

定例会において各議員が政策提言しています。議会としてどのような質問・提言がなされているか、項目別に分類してみました。議員名の二次元コードから、すべての質問項目の音声配信が聞けます。

議員名にマーカーがついている記事が掲載されています。

福祉・健康

乳がんの受診率向上	中山
図書館へのりんご棚（バリアフリー書籍）設置	中山
高齢者対策	小鷹

子育て・教育・文化

町所蔵美術品の取り扱い	関根
幼稚園の取り組み	野田
新教育長の教育行政	清水

くらし

特定空き家・管理不全空き家の現状	関根
交通安全対策	日坂
鳩川改修工事・県道岩殿岩井線整備	石井徹
水道水のPFAS対策	清水
暑さ対策	清水
鳩山ニュータウンの公園環境の改善	石井徹
上下水道料金	森
防災無線	石井計次
防犯対策	石井計次

町の活性化

北部地域活性化の今後	石井徹
ふれあい農園	小鷹
農業後継者対策	小鷹

その他

タウンセンター周辺の管理	日坂
都市計画税	森
庁舎北側の廃屋	石井計次
会計年度任用職員	野田
公共施設設備（ユニバーサルシート、授乳室）	野田
鳩山町デイサービスセンターの指定管理者	中山
町長の施策	石井計次

水道料金改定

問 いつから水道料金を値上げするか

答 来年の4月、5月分から改定したい

森
利夫
議員



手取り収入は増えないのに、物価は激増か？



水道料金

問 水道料金の現状と今後の予定について伺う。

答 約30年にわたり水道料金を据え置いたままだが、給水人口の減少、物価や人件費、県水の上昇、さらに老朽化に伴う修繕費の増大などで経営環境は極めて厳しい。水道事業を将来にわたって安定的に維持継続するために、先月水道料金の改定について諮問をした。

問 想定できる範囲で、答申後の予定を伺う。

答 答申を受け次第、水道料金の一部改定案を上程して、議決後、住民の方々に知らせる予定。

問 その時期と改定率について伺う。

答 遅くも今年度末までに上程し、議決後の6月請求分から料金改定を願いたい。昨年度策定した水道ビジョンの財政シミュレーションでは、改定率40%の試算が出ている。

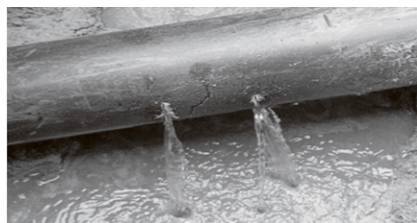
都市計画税

問 市街化区域住民が受ける都市的サービスの受益と市街化調整区域の住民による地域維持管理などの負担との公平性について、町の見解を伺う。

答 固定資産税を課税する観点からすると、都市基盤が整備されている市街化区域の方々には、それ相応の負担をいただいているので、公平性は保たれていると認識している。

問 都市計画税導入の是非を直ちに問うものではないが、今後の人口減少、高齢化社会における将来財源の選択肢として、調査研究をする考えがあるか。

答 少子高齢化などの影響で税収は減少している。都市計画税や法定外の税など、他市町村の導入例を参考に調査研究を進めたい。



給水管の老朽化等により起きた漏水の様子

抜け道の交通安全対策

問 急ぎ焦っている車の速度抑制策は

答 啓発と同時に物理的対策も必要だ

日坂
和久
議員



急ぎ焦っている人に看板は見えない



交通安全対策

問 町内幹線道路の抜け道における道路交通環境の整備について伺う。抜け道は急いでいて、時間がなく、少しでも早く進みたいという気持ちで運転している通過車両が多い。このような精神状態の運転者に速度抑制看板や道路標示は効果があるか。

答 看板の設置は多少効果があると思うが、指摘のように、急いで焦っている運転者には難しい。そのため、物理的な対策も必要だ。

問 物理的な速度抑制対策としてハンプの設置が考えられる。設置には地域の皆さんの意見や合意形成が必要だ。三鷹市のように可搬型ハンプの実証実験を行ったうえで判断してはいかがか。

答 今後、交通安全対策の一環で速度抑制対策として考えたいが、設置場所については地域住民の皆さんと合意形成のうえ検討する。

問 交通安全計画では、高齢の方々に自主的な運転免許証返納を推進するとしており、返納しやすい環境を整えるとしている。具体的取り組みは。

答 町のデマンド・タクシーや社会福祉協議会が運行している福祉有償運送を活用していただきたい。

問 福祉有償運送は、運転協力員や使用できる車両が不足しているなど課題がある。免許証返納者が増加した際に受け皿になれない可能性もある。町は社会福祉協議会と連携を強め、課題解消に動くべきでは。

答 課題解消に向けて社会福祉協議会と協議していく。運転協力員の募集など町広報での周知等、積極的に協力していきたい。



速度抑制に効果があるハンプ

会計年度任用職員

問 任用条件は変わったのか

答 公募によらず更新は2回まで

野田小百合議員



さらに改善していければ良いな～



問 職員総数における会計年度任用職員の割合はどのようなか。

答 職員総数215人。会計年度任用職員は様々な勤務形態があるが、週20時間未満の職員まで加えると全体の40%。

問 任用条件通知書には、「任用期間は1年間」と記載され、「更新する場合もあり得る」とある。更新する権利が任用職員側にあるのか。

答 この解釈・運用は、公募をしない、または競争試験をしない場合もあるとしており、次年度以降の任用を約束するものではない。

問 更新上限は2回とある。これは任用職員にとって権利と考えられるのか。

答 任用を約束するものではない。

問 任用に関する国の考え方はどのようなか。

答 令和6年6月の人事院の通知により、任命権者である町長が判断する場合などは、公募によらない再採用を行うことが可能である旨が示され、また従前あった「公募によらない再採用の上限回数を原則2回までとするよう努める」との文言を削除している。

問 鳩山町の考え方はどのようなか。

答 年々新規の応募者数は減少傾向。

令和8年度採用より、国と同様に公募によらずに更新が行えるよう見直しを行った。ただし、3年に1回は公募が行えるよう2回までの更新とした。なお、更新に当たっては、人事評価の結果により勤務実績に基づく能力等の実証を行った上で、再度の任用を行う。

休暇制度についても見直し、処遇改善を図った。



役場庁舎、職員の40%が会計年度任用職員

防犯対策

問 住宅向け防犯対策への助成金を

答 実施に向け準備を進めている

石井計次議員



町民の不安解消に期待!!



防犯用品補助事業

問 個人住宅の設置に補助金は可能か。

答 昨年度、住宅等に防犯対策を行った方に補助金を交付する支援を実施した。

防犯カメラの設置が最も犯罪防止につながると考え、補助金制度の準備を進めている。

問 今後の計画と内容を伺う。

答 防犯カメラの設置補助を再度導入することで利用者の負担を軽減したい。交付金を活用し積極的に取り組んでいく。準備が整い次第、広報等を通じ周知を図りたい。

庁舎北側の廃屋

問 今まで空き家対策問題で取り上げている。現状の取り組み状況を伺う。

答 議員要望も出ている。空き家対策特措法に基づき粛々と進めている。

問 所有する業者が来庁されたと聞くと処分方法についてのレベルではない。次のステップ、「命令書」は相手側に出されているか。

答 とりあえず解体して欲しい旨を強く要望している。環境保全対策協議会に諮り、「命令書」の送付を考えている。

問 いつ頃になるのか伺う。

答 夏頃に「命令書」を送付する考えでいる。

町長の施策

問 小川町長初当選以来1期4年のうち3年目を迎えるが、描く当町の将来像を伺う。

答 残任期間2年間の重点施策は1つ目が企業誘致。2つ目が国、県有財産の空き家対策と活用。3つ目はふるさと納税による自主財源の確保に取り組む。



防犯カメラの一例

北部地域活性化推進

問 今後の北部活性化事業の方針は

答 地域資源によるソフト事業を推進

石井
徹議員



あんずも観光資源として活かしては



今後の北部地域の活性化の進め方は

問 主要施設整備と第2期活性化方針は本年度で一区切りのようだが、今後はどのように進めるのか。

答 引き続き「ちよつくま」と「泉井交流体験エリア」を拠点に活性化を継続する。本年度中には泉井、上熊井の活性化委員会、住民・指定管理者・関係団体・町が協働する新組織を立ち上げ、ソフト事業を推進の予定。里山ハイキングやイベント共催を通じ交流を促進し、田園風景や南比企窯跡などの観光資源を複合的に活用する。

問 北部地区でのあんず生産農家の育成は。

答 あんずは収穫量が増加しており、農業・観光振興の地域資源として期待されている。遊休農地活用による生産農家育成は有効ではあるが、従事者の確保ほか課題が多くあり、町としては、まずはあんずのブランド化に向け支援していきたい。

鳩川改修と県道岩殿岩井線整備の進捗と今後の課題

問 工程表では、令和11年度完成とされているが、用地買収や内水対策（調整地整備）の状況、事業費の見通しについて伺う。

答 県から、迂回路工・橋梁本体工・河川改修工を含む工程表は示されているが、遅れが生じており、完成時期が延長する可能性がある。町としては県と進捗や安全対策を適宜住民へ周知することで、工事等の遅れを理解してもらえるよう努める。また、重郎橋周辺の用地買収は令和7年度中に完了したが、内水対策の調整池用地は地権者と協議中である。総事業費は約13億円だが、物価高騰等により増額の可能性がある。



架け替え工事が始まる重郎橋

乳がん検診

問 講演会等、開催してはどうか

答 生の声を聞くことは大変有効

中山
明美議員



予防が一番



乳がんの受診率向上のために

問 過去5年間の受診率の変化は。

答 令和2年度は11.3%、3年度は8.2%、4年度は9.4%、5年度は9.5%、6年度は9.5%。国や県の平均と比較して5から6ポイント程度低い水準が続いている。

問 受診率向上のための取り組みは。

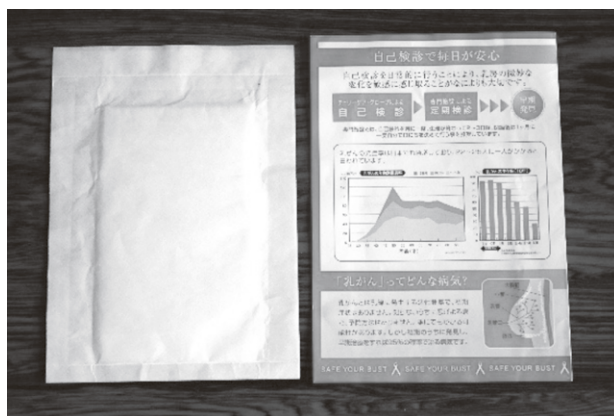
答 ①周知、啓発と個別勧奨の強化
②集団検診における受診機会の拡大
③町外の医療機関での個別検診に対する助成

問 アピアランスケアの利用状況は。

答 令和5年4月より、累計件数は10件（医療用ウィッグが9件、乳房補整具が1件）。制度を必要とされる方に情報が確実に行き届くことが何より重要である。

問 啓発活動など取り組まれている方を招いて講演会などを開催することは考えられないか。

答 乳がんの経験者や第一線で啓発活動をされている方の生の声、また専門的な知見を直接聞く機会を設けることは、乳がんを自分自身の問題として捉え、検診受診への心理的ハードルを下げるうえで大変有効な手段であると認識している。講演会の開催は、どのような内容であれば、より多くの町民の皆様に関心を持っていただけるか検討を進めていきたい。



自己触診補助用具のひとつ 自分の身体に関心を

子どもを守る暑さ対策

問 小・中学校に冷水機の設置を

答 経費、維持管理面の観点から検討

清水
秀幸
議員



またまた鳩山に
暑い夏がやってくる



問 昨年9月議会でもお願いしているが、暑さ対策として、市内の小・中学校に「冷水機の設置」を検討できないか。「子育て日本一の鳩山」を目指すならば、学校に対しその部分をフォローしても良いのではないのか。昨年、吉見町は市内の小・中学校に「給水機」を設置しており、鳩山も最低限「給水機」、ちょっと進んで「冷水機」の設置を検討できないか。

暑さ対策として、水分補給をと言っている一方、児童生徒は水筒を持って登校しているが、水筒の水が足りなくなってしまう。保護者の方からもお願いしたいとの声を聞き、ぜひとも、学校で水筒に「冷水機」で給水できるような体制をとっていただきたいが、いかがか。

答 「冷水機」の導入は、水分補給環境の向上や熱中症予防の観点で一定の効果が期待できるものと認識している。一方、「冷水機」の設置には、導入・維持管理の経費、衛生管理や保守点検、故障の対応など継続的な管理体制の確保が必要となることから、十分な検討が必要である。

ミストシャワー設置による熱中症対策を

問 ミストシャワーは、水道の蛇口に直接つなげて水道圧で使用するため安価で、気化熱で周囲の温度を約3度下げる効果がある。夏場の暑さ対策として、小・中学校に設置できないか。

答 各学校の施設の現状を踏まえながら検討していきたい。



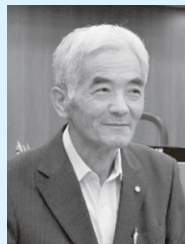
熱中症対策にもなるので学校に「冷水機」を置いてほしい

耕作放棄地

問 鳩山町の農業の再生は

答 基盤整備が必要ではないか

小鷹
房義
議員



耕作放棄地は
大変だ



ふれあい農園の整備

問 どのくらいの面積を有しているのか伺う。

答 6筆の畑で合計7590平方メートルで、駐車場を含めると7989平方メートル。

問 主に何を作付けしているのか伺う。

答 ジャガイモ、大根、キャベツ、トマト、ナス、キュウリなど。

問 契約期間は何年単位か伺う。

答 4月1日から3月31日までの1年間の契約を基本としており、毎年度契約の締結、解除、更新を行っている。

農業後継者対策

問 農業経営体数は減少しているのか伺う。

答 県内の2025年の農業センサスでは、市町村別の数値がまだ公表されていない。県内の農業経営体の速報値では、令和7年2月1日現在で2万722経営体となっている。

高齢者対策

問 認知症の方は増えつつあるのか伺う。

答 高齢者対策において認知症の方も年々増加しており、認知症基本法をもとに、鳩山町認知症施策推進計画を策定し、その計画を基に事業を実施している。

問 埼玉県内の高齢化率で高い市町村順はどうなっているのか伺う。

答 順に鳩山町、小川町、ときがわ町となっている。



荒れた田んぼ